

令和6年度 東京都看護人材実態調査 概要

資料4－1

1. 調査対象・有効回収率

調査対象			有効回収数	有効回収率
管理者編	病院	全数	255	40.0%
	有床診療所	抽出	38	23.9%
	無床診療所	抽出	254	36.5%
	助産所（分娩取扱施設）	全数	12	31.6%
	訪問看護ステーション	抽出	253	28.9%
	介護老人保健施設	全数	36	17.8%
	介護医療院	全数	5	15.2%
	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	抽出	65	27.8%
	特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム等）	抽出	58	15.1%
	居宅サービス事業所（通所介護・訪問入浴）	抽出	74	22.3%
	看護小規模多機能型居宅介護事業所	抽出	6	20.0%

調査対象			有効回収数	有効回収率
看護職員編	看護師等の免許を有し、調査対象施設で看護業務に従事している者	抽出	1,786	24.4%
看護補助者編	調査対象の病院・有床診療所に従事している者	抽出	631	25.7%
離職者編	看護職員を離職し、都内に就職を希望しているナースバンク登録者	抽出	295	23.4%
教育機関・養成施設編	看護師等の教育機関・養成施設の管理者（大学院・大学・助産学専攻・養成所・高等学校）	全数	63	68.5%
看護学生編	教育機関・養成施設編の調査対象施設に在籍している看護学生（最終学年）	抽出	232	41.2%

2. 調査内容

有効回答合計 1058 平均29.0%

調査対象	主な調査項目
管理者編	基本情報（施設情報、利用実績）、看護職員の在籍状況（採用・退職、取組、募集ツール）、定着支援（業務効率化、タスク・シフト/シェア、ハラスメント対策、育児・介護支援）、人材育成（研修、専門看護師、特定行為）、看護補助者の在籍状況（就業状況、業務内容、募集ツール、研修等）
看護職員編	基本情報（属性、雇用形態）、職歴（勤務年数、退職・転職状況、募集ツール）、看護補助者との協働、キャリア・プラン（定年退職後の働き方、専門資格の取得状況）、その他（ナースプラザ事業の認知・利用状況、届出制度の認知度）
看護補助者編	基本情報（属性、保有資格）、業務内容（配属部署、夜勤）、看護補助者になる前（直前の職業、看護補助者を選んだ理由、募集ツール）、看護補助者としての職歴（勤務年数、6年後の将来像）
離職者編	基本情報（属性、勤務年数、現在の就業状況）、就業者の現状（就業理由、離職期間、前職場の退職理由等）、未就業の現状（経験施設数、退職理由、再就業意向）、その他（ナースプラザ事業の認知・利用状況）
教育機関・養成施設編	基本情報（施設情報、学生定員）、看護教員の在籍状況（採用・退職、採用活動、研修、ハラスメント対策）、学生の在籍状況（入学・退学、確保取組、就業動向）、就職支援、実習施設、デジタル教材、その他（届出制度の認知度）
看護学生編	基本情報（属性、入学前の状況）、修学等（看護職を目指した時期、理由、修学資金の利用状況）、卒業後の進路（決定理由、進路先）、デジタル教材

3. 調査方法

Webによる回答（原則）

4. 調査期間

令和6年9月24日～令和6年11月29日